

### 3 各がん検診の検査実施方法及び受診状況

問3 貴保険者で実施した各がん検診の検査実施方法及び受診状況（平成27年度）についてお答えください。

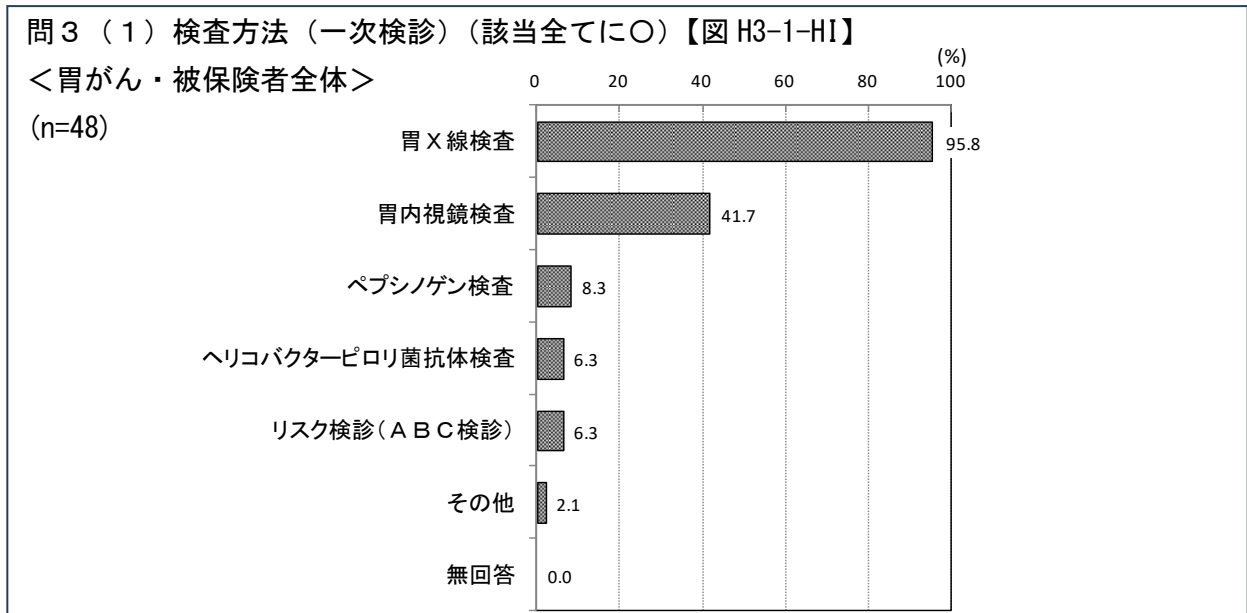
#### (1) 各がん検診の検査方法（一次検診）

##### ア. 胃がん

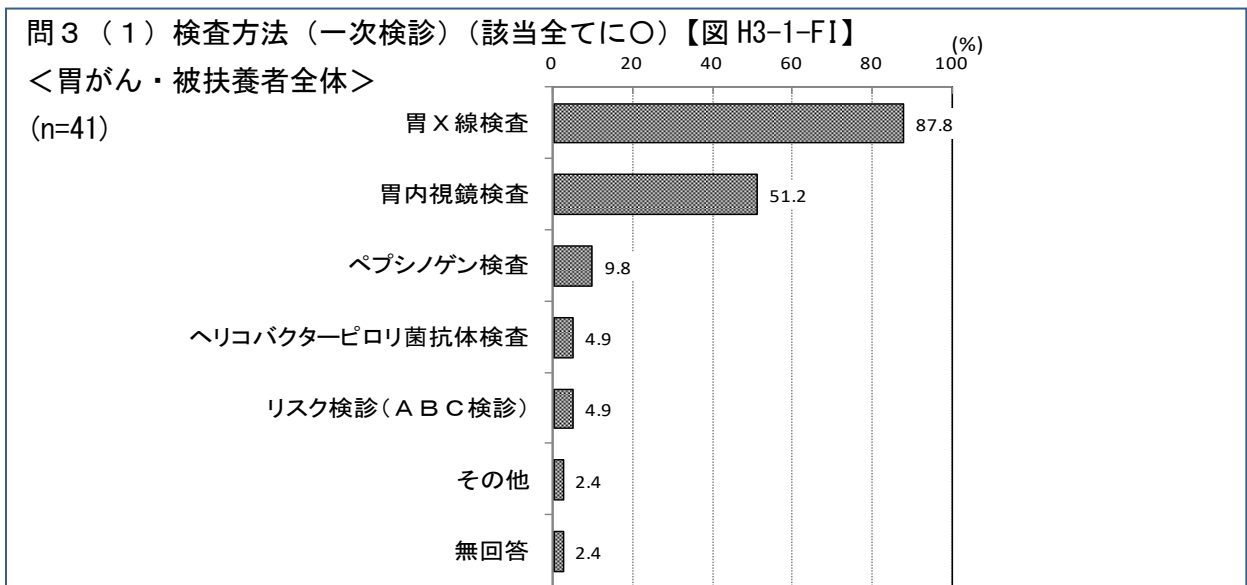
##### 【全体の傾向】

胃がん検診（一次検診）の検査方法は、被保険者・被扶養者とも「胃X線検査」がそれぞれ95.8%、87.8%で最も多い。「胃内視鏡検査」がそれぞれ41.7%、51.2%でこれに次いでいる。（図H3-1-HI／図H3-1-FI）

##### [被保険者]



##### [被扶養者]



## イ. 大腸がん

### 【全体の傾向】

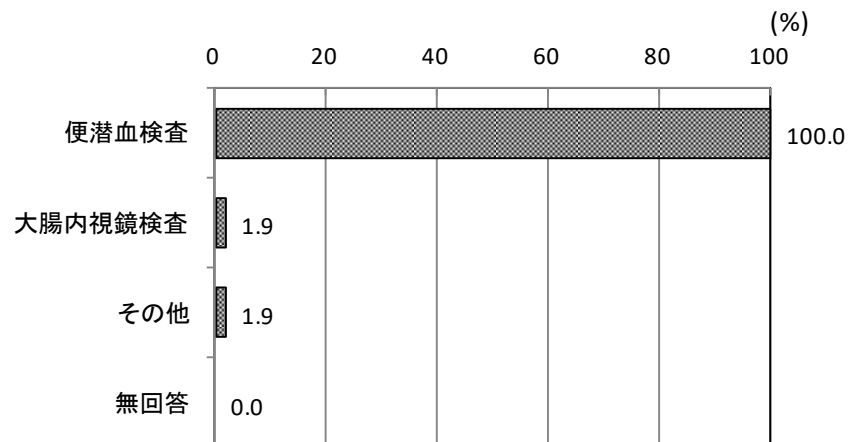
大腸がん（一次検診）の検査方法は、被保険者・被扶養者とも「便潜血検査」がそれぞれ100.0%、95.5%で最も多い。（図 H3-1-HD／図 H3-1-FD）

### 【被保険者】

問3（1）検査方法（一次検診）（該当全てに○）【図 H3-1-HD】

<大腸がん・被保険者全体>

(n=53)

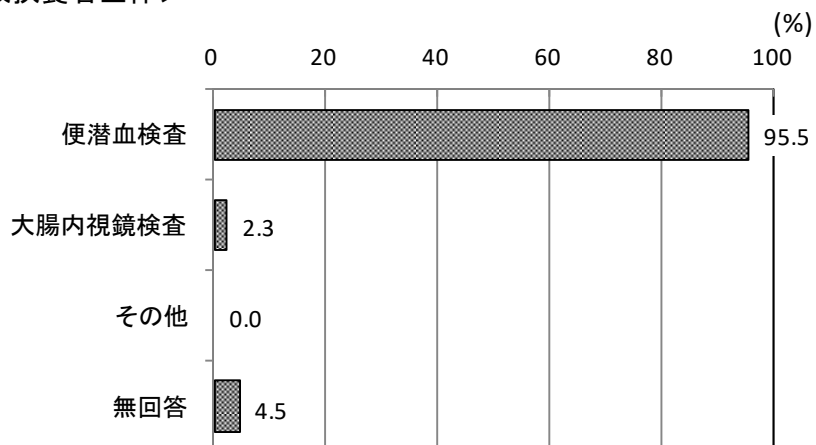


### 【被扶養者】

問3（1）検査方法（一次検診）（該当全てに○）【図 H3-1-FD】

<大腸がん・被扶養者全体>

(n=44)



## ウ. 肺がん

### 【全体の傾向】

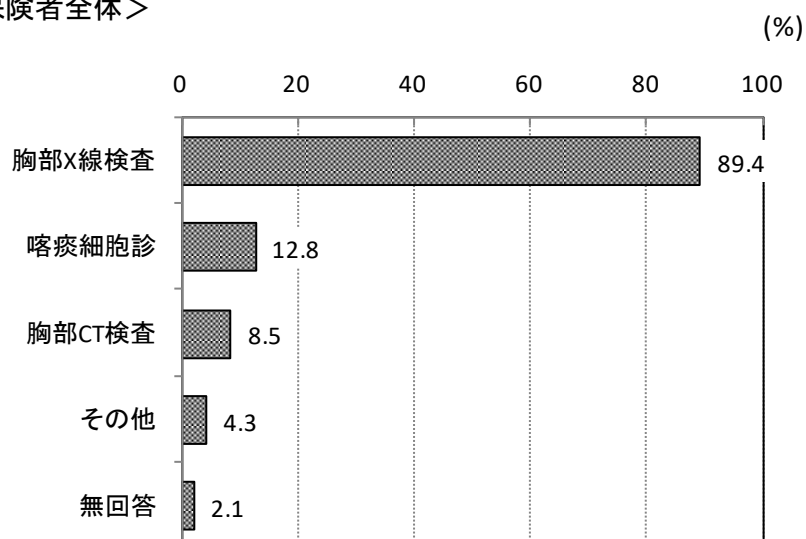
肺がん検診（一次検診）の検査方法は、被保険者・被扶養者とも「胸部X線検査」がそれぞれ 89.4%、97.4%で最も多い。（図 H3-1-HH／図 H3-1-FH）

### 【被保険者】

問3（1）検査方法（一次検診）（該当全てに○）【図 H3-1-HH】

<肺がん・被保険者全体>

(n=47)

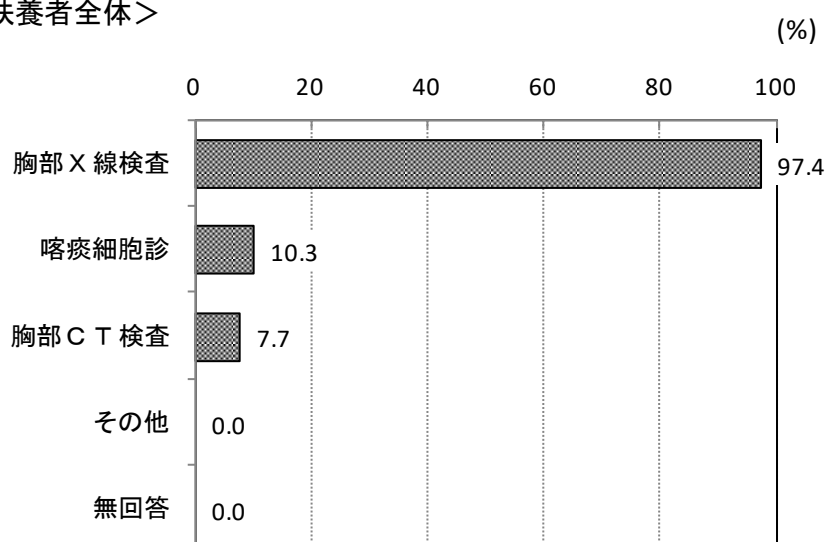


### 【被扶養者】

問3（1）検査方法（一次検診）（該当全てに○）【図 H3-1-FH】

<肺がん・被扶養者全体>

(n=39)

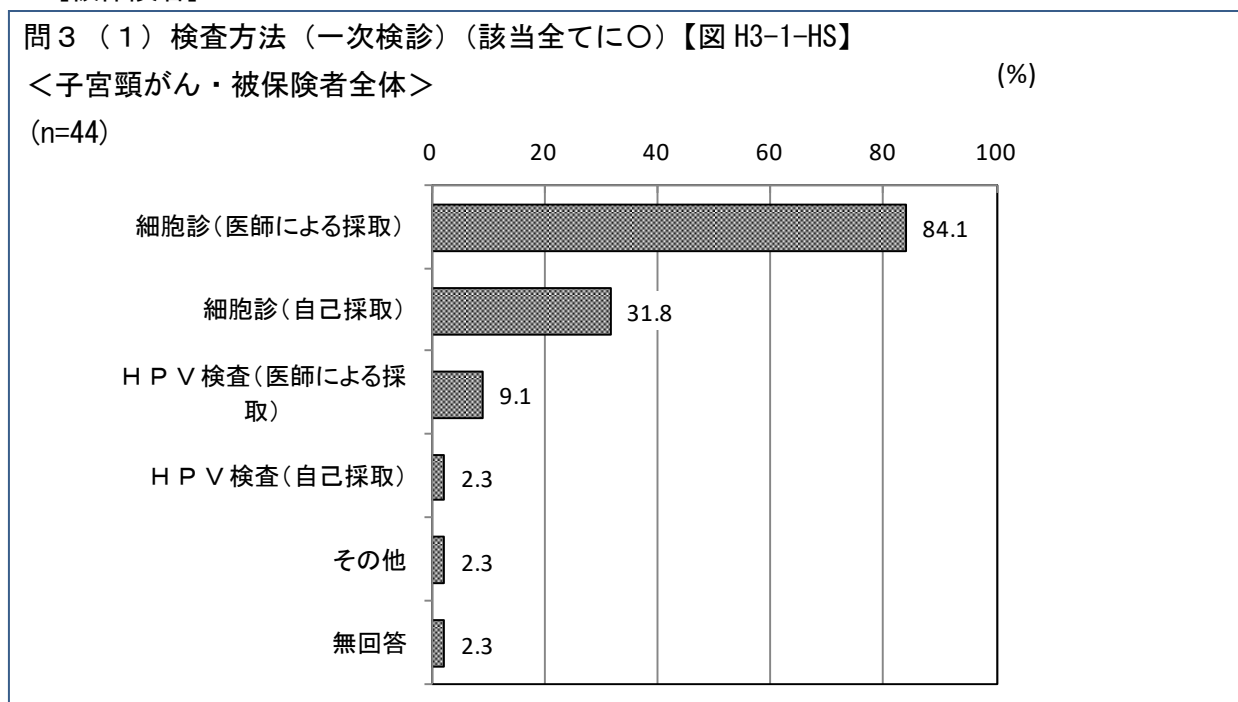


## エ. 子宮頸がん

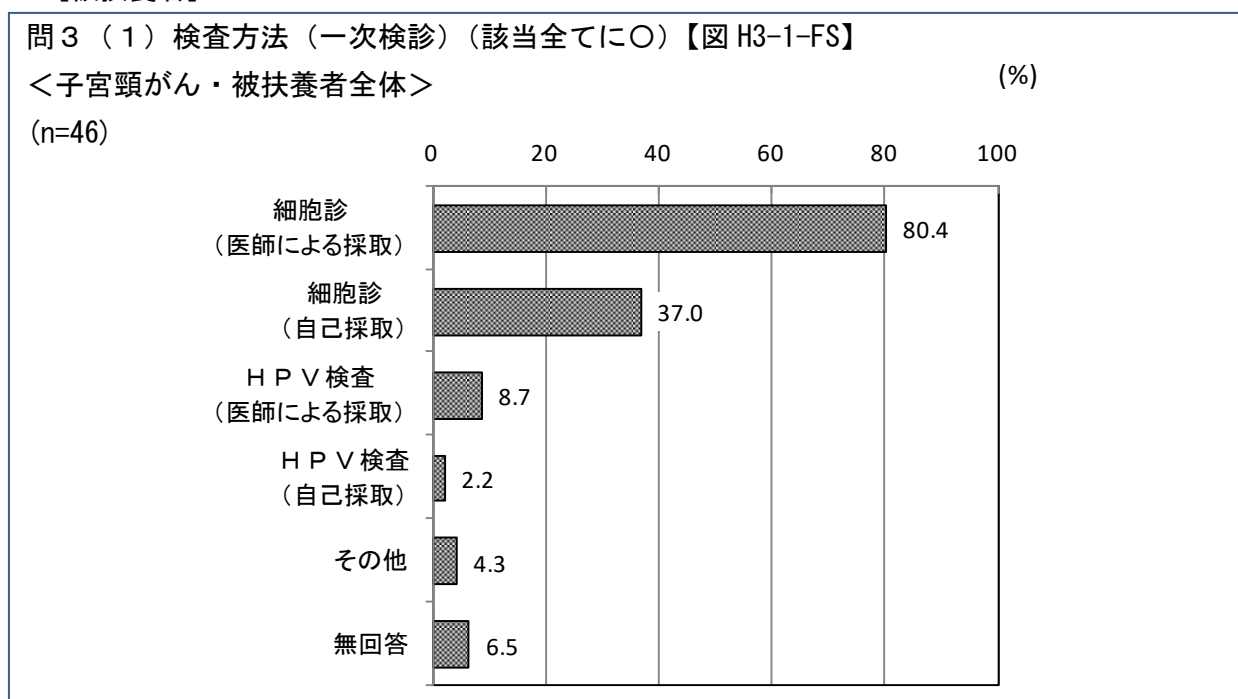
### 【全体の傾向】

子宮頸がん検診（一次検診）の検査方法は、被保険者・被扶養者とも「細胞診（医師による採取）」がそれぞれ 84.1%、80.4%で最も多い。「細胞診（自己採取）」がそれぞれ 31.8%、37.0%でこれに次いでいる。（図 H3-1-HS／図 H3-1-FS）

### 【被保険者】



### 【被扶養者】



## オ. 乳がん

### 【全体の傾向】

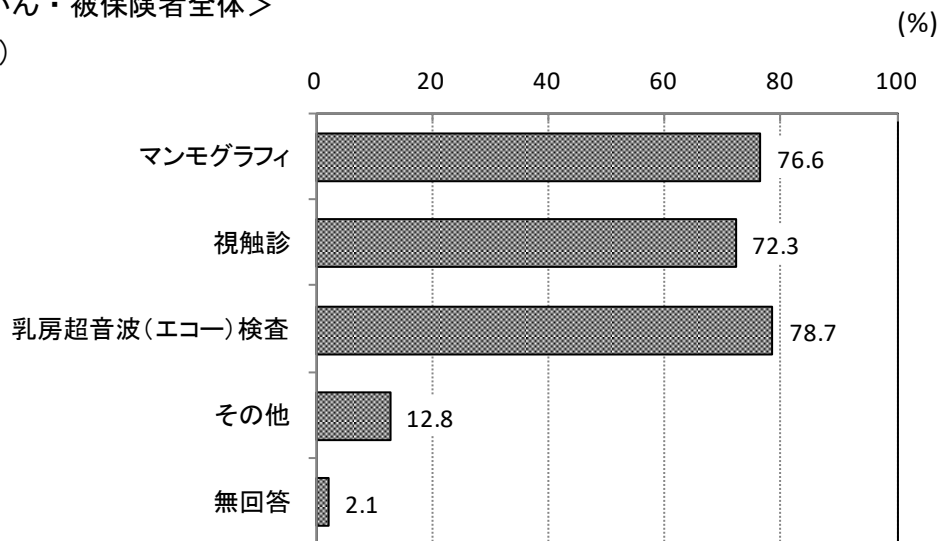
乳がん検診（一次検診）の検査方法は、被保険者・被扶養者とも「乳房超音波（エコー）検査」がそれぞれ78.7%、78.3%で最も多い。「マンモグラフィ」、「視触診」も、6～7割が実施している。（図 H3-1-HN／図 H3-1-FN）

### 【被保険者】

問3（1）検査方法（一次検診）（該当全てに○）【図 H3-1-HN】

<乳がん・被保険者全体>

(n=47)

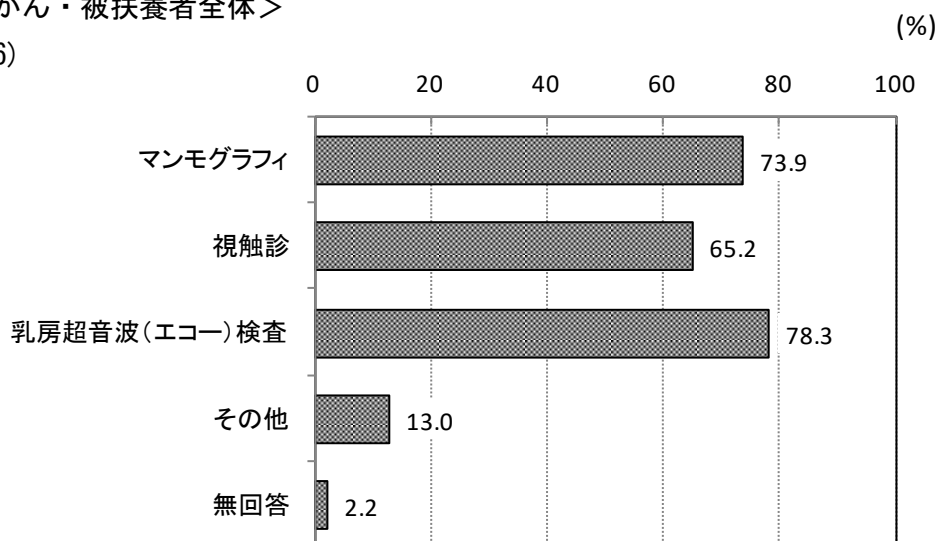


### 【被扶養者】

問3（1）検査方法（一次検診）（該当全てに○）【図 H3-1-FN】

<乳がん・被扶養者全体>

(n=46)



(2) 受診対象者の設定状況

ア. 胃がん

【全体の傾向】

胃がん検診の受診対象者の設定状況は、被保険者・被扶養者とも「対象年齢の設定あり」がそれぞれ 83.3%、90.2%で最も多い。

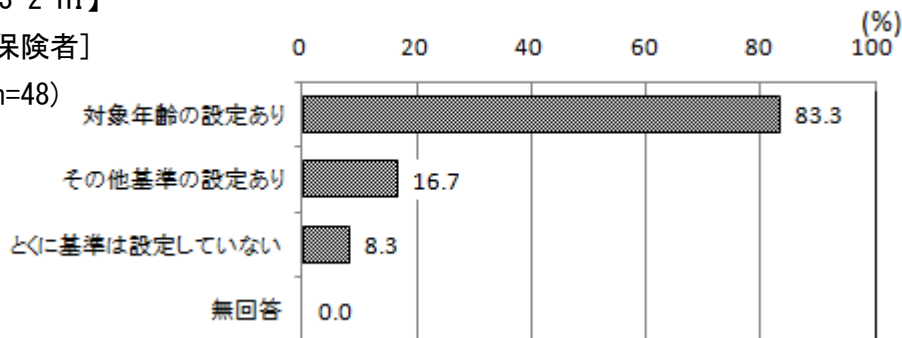
「その他基準の設定あり」も含めると、＜受診対象者の設定あり＞は9割にのぼる。(図 H3-2-HI/図 H3-2-FI)

問3 (2) 受診対象者の設定の有無 (あてはまるもの全てに○の上、具体的に記入)

【図 H3-2-HI】

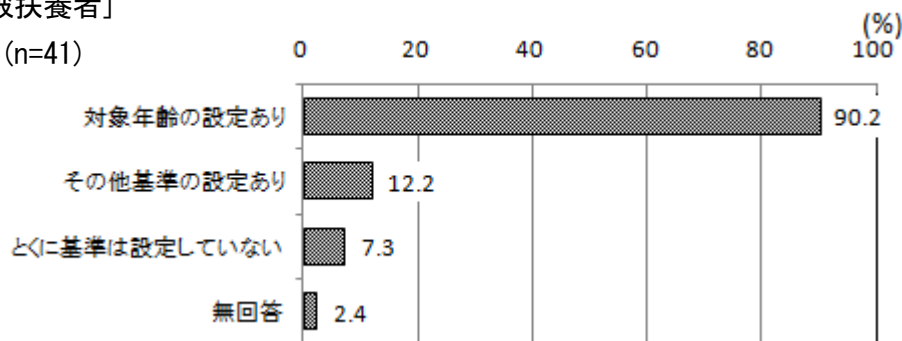
[被保険者]

(n=48)

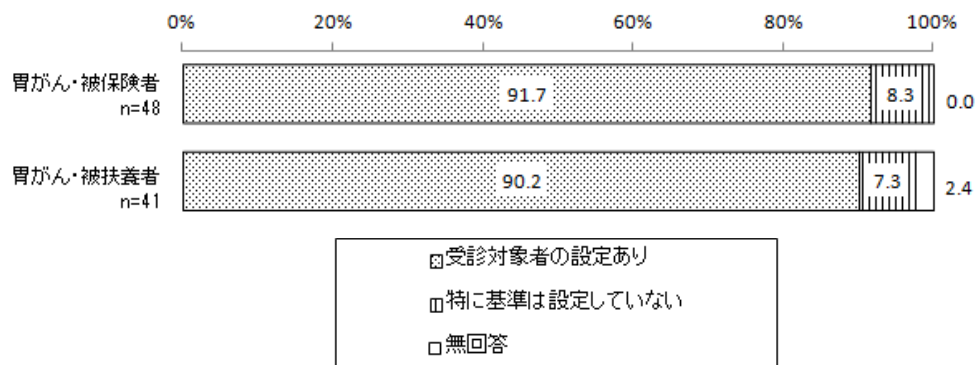


[被扶養者]

(n=41)



問3 (2) より 受診対象者設定の有無※ 【図 H3-2-FI】



※ ＜受診対象者の設定あり＞は、問3において「受診対象者の設定の有無」から「対象年齢の設定あり」または「その他基準の設定あり」に1つ以上の選択があった医療保険者数より算出。

イ. 大腸がん

【全体の傾向】

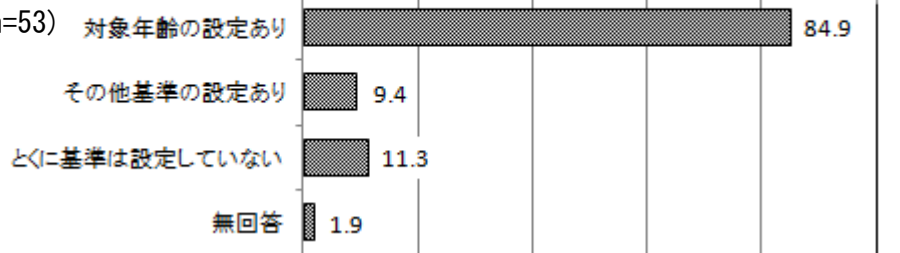
大腸がん検診の受診対象者の設定状況は、被保険者・被扶養者とも「対象年齢の設定あり」がそれぞれ84.9%、88.6%で最も多い。(図 H3-2-HD/図 H3-2-FD)

問3(2) 受診対象者の設定の有無(あてはまるもの全てに○の上、具体的に記入)

【図 H3-2-HD】

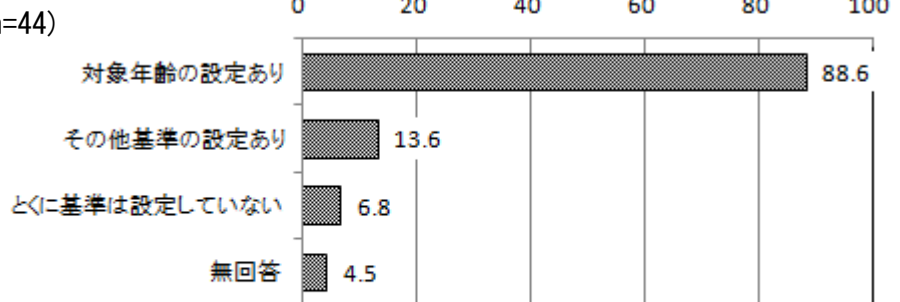
[被保険者]

(n=53)

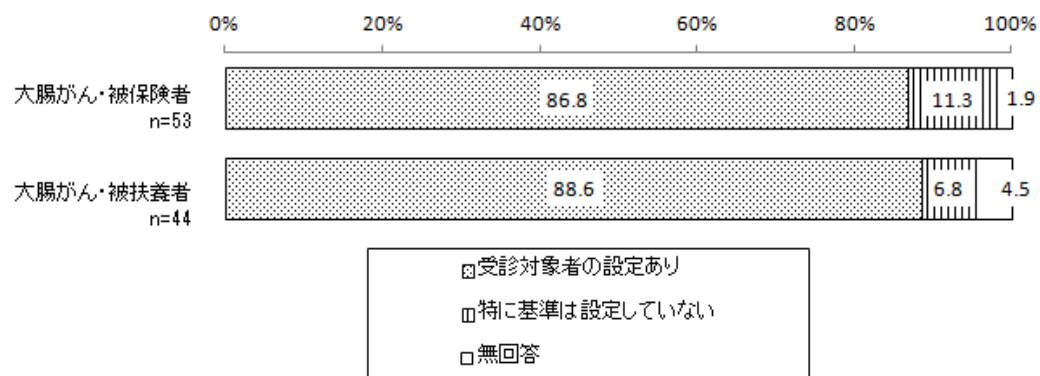


[被扶養者]

(n=44)



問3(2)より 受診対象者設定の有無※ 【図 H3-2-FD】



※ <受診対象者の設定あり>は、問3において「受診対象者の設定の有無」から「対象年齢の設定あり」または「その他基準の設定あり」に1つ以上の選択があった医療保険者数より算出。

ウ. 肺がん

【全体の傾向】

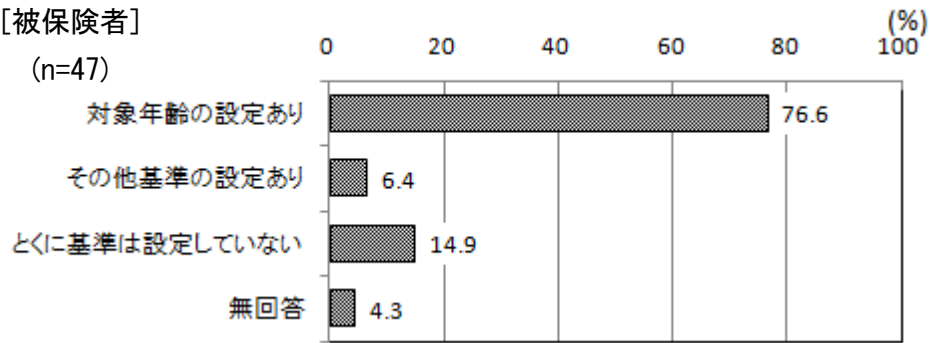
肺がん検診の受診対象者の設定状況は、被保険者・被扶養者とも「対象年齢の設定あり」がそれぞれ 76.6%、84.6%で最も多い。(図 H3-2-HH/図 H3-2-FH)

問3 (2) 受診対象者の設定の有無 (あてはまるもの全てに○の上、具体的に記入)

【図 H3-2-HH】

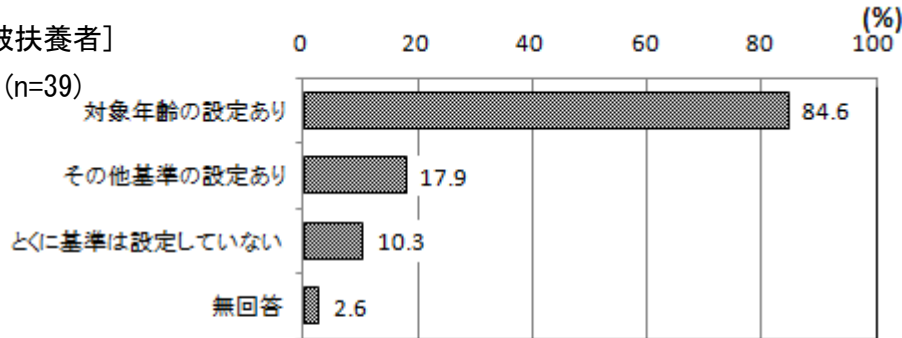
[被保険者]

(n=47)

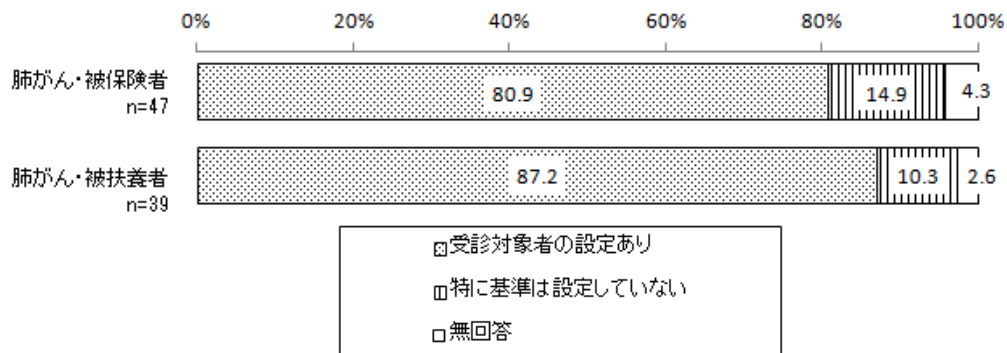


[被扶養者]

(n=39)



問3 (2) より 受診対象者設定の有無※ 【図 H3-2-FH】



※ <受診対象者の設定あり>は、問3において「受診対象者の設定の有無」から「対象年齢の設定あり」または「その他基準の設定あり」に1つ以上の選択があった医療保険者数より算出。



## エ. 子宮頸がん

### 【全体の傾向】

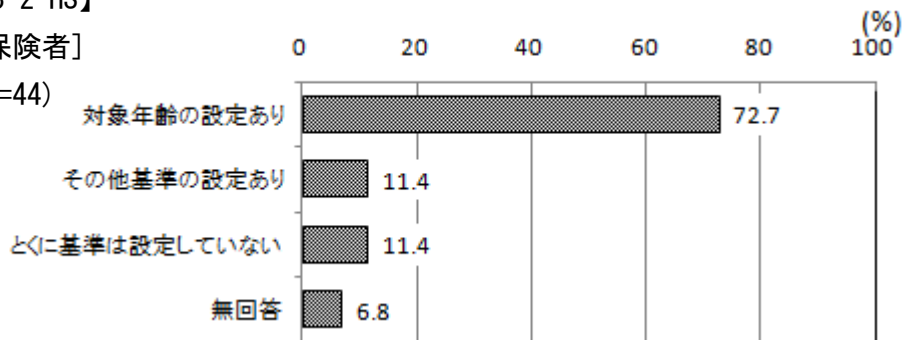
子宮頸がん検診の受診対象者の設定状況は、被保険者・被扶養者とも「対象年齢の設定あり」がそれぞれ72.7%、78.3%で最も多い。「その他基準の設定あり」も含めると、<受診対象者の設定あり>は8割にのぼる。(図 H3-2-HS/図 H3-2-FS)

問3 (2) 受診対象者の設定の有無 (あてはまるもの全てに○の上、具体的に記入)

【図 H3-2-HS】

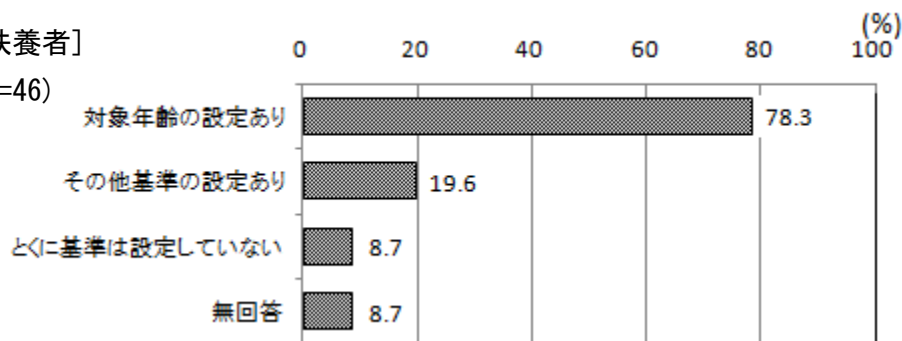
[被保険者]

(n=44)

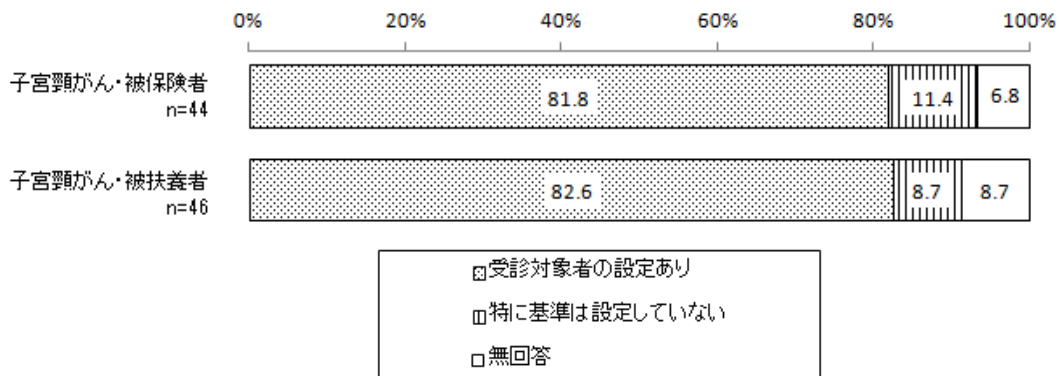


[被扶養者]

(n=46)



問3 (2) より 受診対象者設定の有無※ 【図 H3-2-FS】



※ <受診対象者の設定あり>は、問3において「受診対象者の設定の有無」から「対象年齢の設定あり」または「その他基準の設定あり」に1つ以上の選択があった医療保険者数より算出。

オ. 乳がん

【全体の傾向】

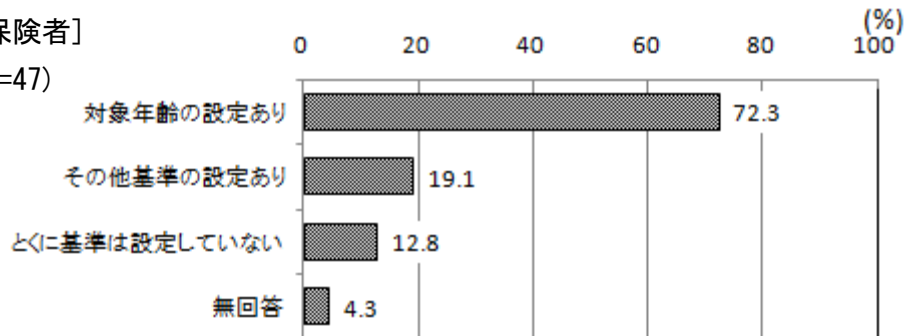
乳がん検診の受診対象者の設定状況は、被保険者・被扶養者とも「対象年齢の設定あり」がそれぞれ72.3%、78.3%で最も多い。「その他基準の設定あり」も含めると、＜受診対象者の設定あり＞は8割にのぼる。(図 H3-2-HN/図 H3-2-FN)

問3 (2) 受診対象者の設定の有無 (あてはまるもの全てに○の上、具体的に記入)

【図 H3-2-HN】

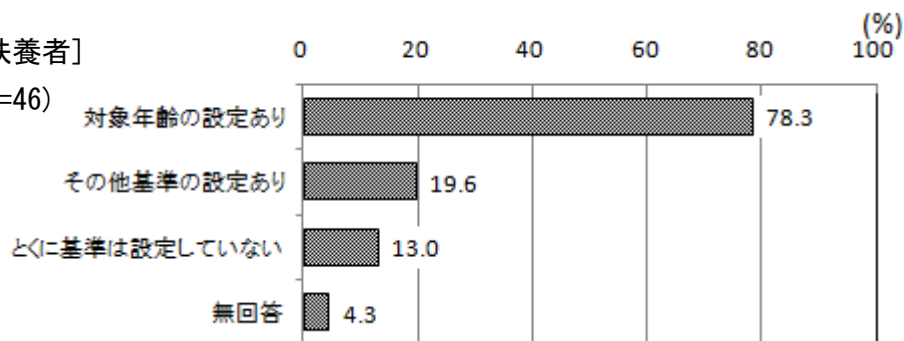
[被保険者]

(n=47)

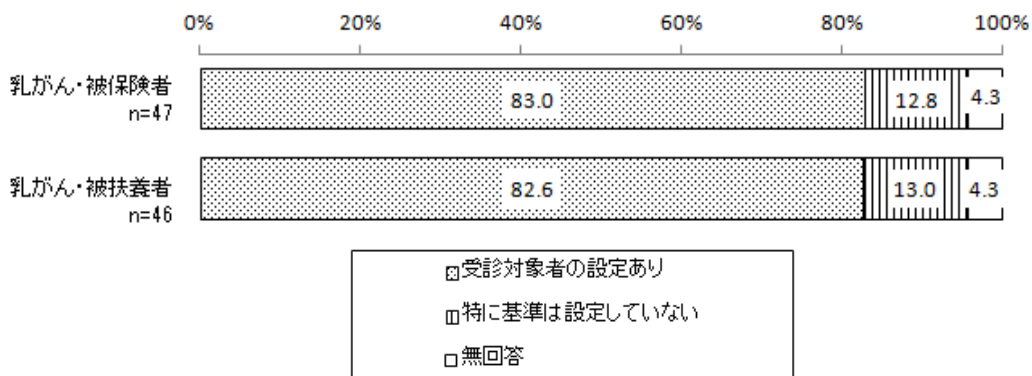


[被扶養者]

(n=46)



問3 (2) より 受診対象者設定の有無※ 【図 H3-2-FN】



※ ＜受診対象者の設定あり＞は、問3において「受診対象者の設定の有無」から「対象年齢の設定あり」または「その他基準の設定あり」に1つ以上の選択があった医療保険者数より算出。

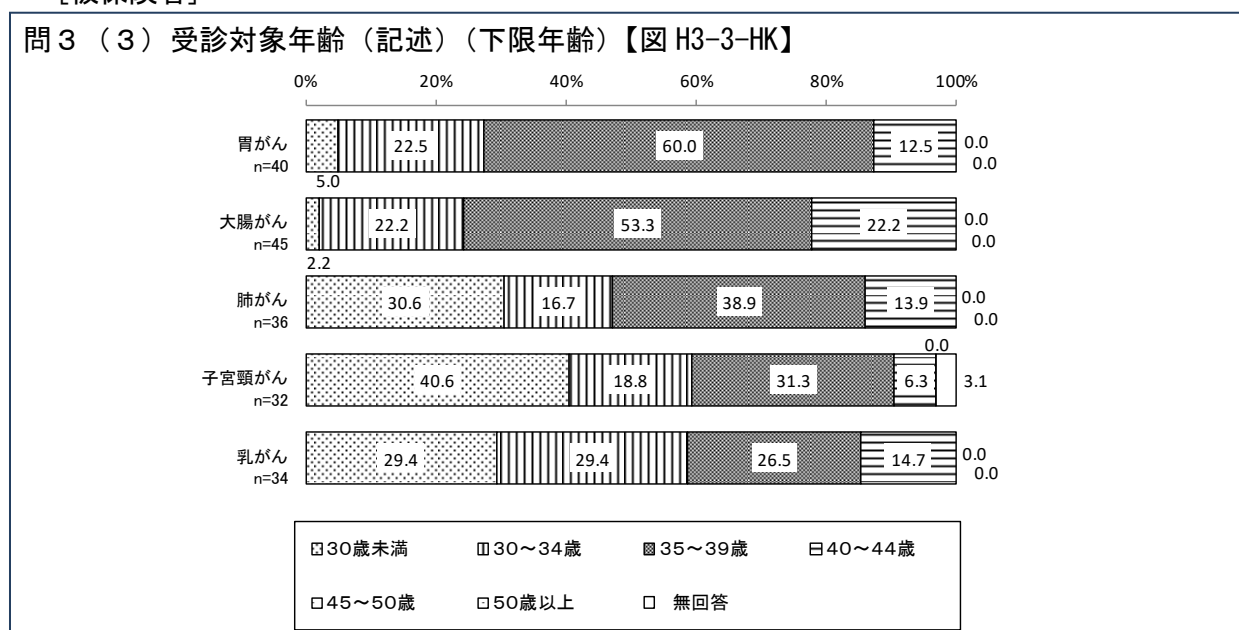
### (3) 受診対象年齢

#### ア. 下限年齢

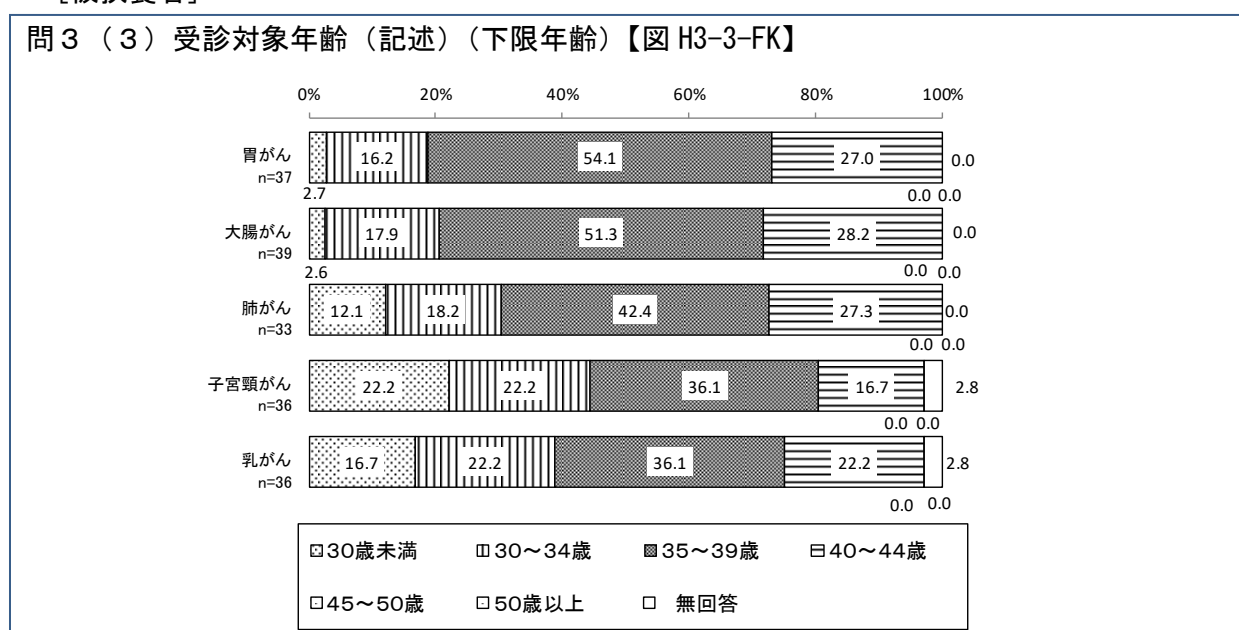
##### 【全体の傾向】

がん検診の受診対象年齢を設定していると回答した医療保険者に、設定されている下限年齢を伺ったところ、被保険者・被扶養者ともに、[胃がん][大腸がん][肺がん]では「35～39歳」が最も多い。[子宮頸がん]は、被保険者では「30歳未満」が最も多く、被扶養者では「35～39歳」が最も多い。[乳がん]は、被保険者では「30歳未満」と「30～34歳」がともに29.4%で最も多く、被扶養者では「35～39歳」が最も多い。(図 H3-3-HK/図 H3-3-FK)

#### 【被保険者】



#### 【被扶養者】



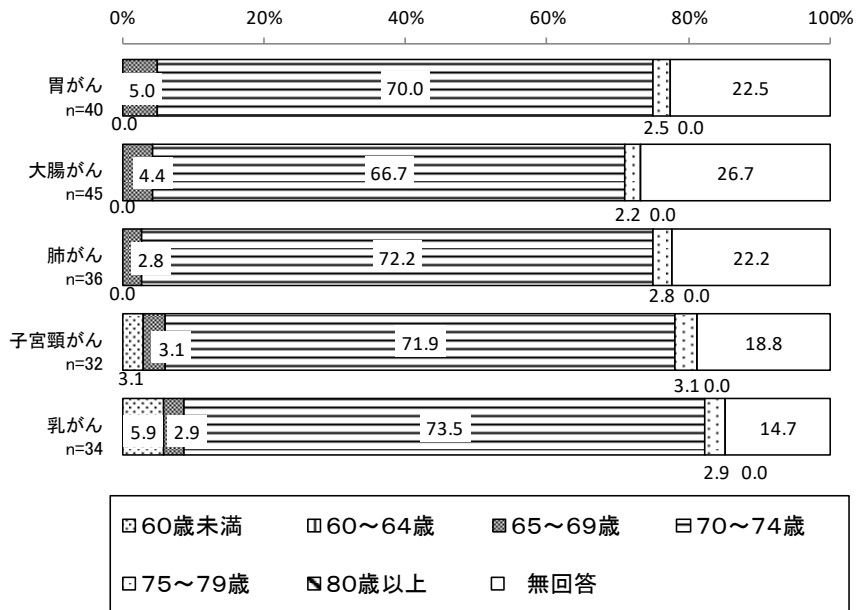
## イ. 上限年齢

### 【全体の傾向】

がん検診の受診対象年齢を設定していると回答した医療保険者に、設定されている上限年齢を伺ったところ、被保険者・被扶養者ともに、5つのがんすべてにおいて、「70～74歳」が最も多い。（図 H3-3-HJ／図 H3-3-FJ）

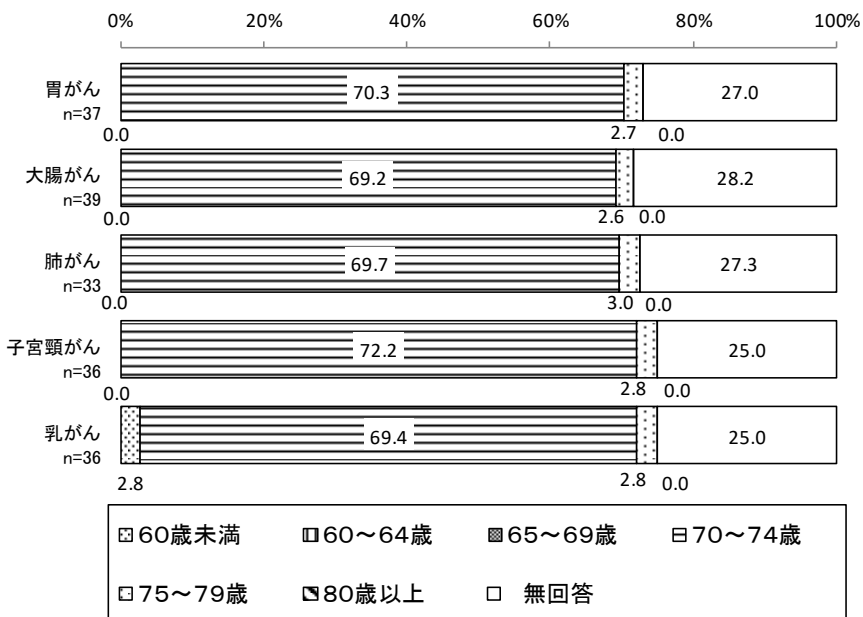
### 【被保険者】

問3（3）受診対象年齢（記述）（上限年齢）【図 H3-3-HJ】



### 【被扶養者】

問3（3）受診対象年齢（記述）（上限年齢）【図 H3-3-FJ】



#### (4) がん検診受診率

##### ア. 医療保険者のがん検診対象者における受診率

※ 対象者数・受診者双方に記載のあった医療保険者を集計対象とし、各人数の総和から算出した。なお、それぞれ無回答であった箇所は計算から除いた。

##### 【全体の傾向】

各医療保険者のがん検診対象者における受診率は、被保険者では[肺がん]の受診率が50.3%で最も高く、[大腸がん]が47.0%でこれに次いでいる。被扶養者では、[肺がん]が42.6%、[大腸がん]が42.4%、[胃がん]が41.6%で高くなっている。

[子宮頸がん][乳がん]は被保険者・被扶養者とも2～3割の受診率となっている。(表 H3-4-H/表 H3-4-F)

##### 【被保険者】

##### 問3より 医療保険者におけるがん検診対象者の受診率【表 H3-4-H】

##### <被保険者・医療保険者全体>

検診の種類	医療保険者数	対象者数	受診者数	受診率
胃がん	35	931,733人	371,131人	39.8%
大腸がん	39	947,347人	445,393人	47.0%
肺がん	34	984,592人	495,098人	50.3%
子宮頸がん	29	229,772人	45,714人	19.9%
乳がん	34	181,791人	44,414人	24.4%

##### 【被扶養者】

##### 問3より 医療保険者におけるがん検診対象者の受診率【表 H3-4-F】

##### <被扶養者・医療保険者全体>

検診の種類	医療保険者数	対象者数	受診者数	受診率
胃がん	27	186,947人	77,824人	41.6%
大腸がん	28	187,638人	79,607人	42.4%
肺がん	27	208,557人	88,904人	42.6%
子宮頸がん	29	239,825人	69,552人	29.0%
乳がん	32	243,943人	74,104人	30.4%

【医療保険者の種別】

(ア) 被保険者

<医療保険者の種別>

問3より 医療保険者におけるがん検診対象者の受診率【表 H3-4-HK】

がん検診の種類	医療保険者の種別	医療保険者数	対象者数	受診者数	受診率
胃がん	組合健康保険 計	32	273,529 人	174,444 人	63.8%
	全国健康保険協会 管掌健康保険	1	627,873 人	186,787 人	29.7%
	【参考値】				
	国民健康保険組合	1	29,401 人	9,061 人	30.8%
大腸がん	組合健康保険 計	34	264,109 人	195,169 人	73.9%
	全国健康保険協会 管掌健康保険	1	627,873 人	236,408 人	37.7%
	【参考値】				
	国民健康保険組合	3	54,435 人	12,939 人	23.8%
肺がん	組合健康保険 計	30	303,521 人	211,760 人	69.8%
	全国健康保険協会 管掌健康保険	1	627,873 人	261,432 人	41.6%
	【参考値】				
	国民健康保険組合	2	51,957 人	20,677 人	39.8%
子宮頸がん	組合健康保険 計	25	67,027 人	21,303 人	31.8%
	全国健康保険協会 管掌健康保険	1	150,211 人	22,328 人	14.9%
	【参考値】				
	国民健康保険組合	2	12,302 人	1,974 人	16.0%
乳がん	組合健康保険 計	30	74,911 人	25,441 人	34.0%
	全国健康保険協会 管掌健康保険	1	94,346 人	16,510 人	17.5%
	【参考値】				
	国民健康保険組合	2	12,302 人	2,335 人	19.0%

被保険者の状況を医療保険者の種別にみると、がん検診受診率は5つのがんすべてにおいて、【組合健康保険】での受診率が他の医療保険者に比べて総じて高くなっており、[胃がん][大腸がん][肺がん]では、6～7割となっている。(表 H3-4-HK)

(イ) 被扶養者

<医療保険者の種別>

問3より 医療保険者におけるがん検診対象者の受診率【表 H3-4-FK】

がん検診の種類	医療保険者の種別	医療保険者数	対象者数	受診者数	受診率
胃がん	組合健康保険 計	25	169,836 人	74,258 人	43.7%
	国民健康保険組合	1	16,894 人	3,437 人	20.3%
大腸がん	組合健康保険 計	25	163,673 人	74,485 人	45.5%
	国民健康保険組合	2	23,748 人	4,918 人	20.7%
肺がん	組合健康保険 計	24	171,565 人	80,481 人	46.9%
	国民健康保険組合	2	36,775 人	8,208 人	22.3%
子宮頸がん	組合健康保険 計	26	208,839 人	65,385 人	31.3%
	国民健康保険組合	2	30,769 人	3,992 人	13.0%
乳がん	組合健康保険 計	29	212,957 人	69,510 人	32.6%
	国民健康保険組合	2	30,769 人	4,431 人	14.4%

(※ 全国健康保険協会管掌健康保険は該当なし)

被扶養者の状況を医療保険者の種別にみると、がん検診受診率は【組合健康保険】では[胃がん][大腸がん][肺がん]では4割、[子宮頸がん][乳がん]でも3割台となっている。【国民健康保険組合】では、[胃がん][大腸がん][肺がん]では2割、[子宮頸がん][乳がん]では1割程度の受診率となっている。(表 H3-4-FK)

## イ. 市町村がん検診対象年齢の加入者における受診率

※ 問1 40歳以上の男女（20歳以上の女性）の人数・受診者双方に記載のあった医療保険者を集計対象とし、各人数の総和から算出した。なお、それぞれ無回答であった箇所は計算から除いた。

### 【全体の傾向】

市町村がん検診において国の指針に定められている対象年齢（胃がん、大腸がん、肺がんは40歳以上男女、子宮頸がんは20歳以上女性、乳がんは40歳以上女性。以下同じ）の加入者における受診率は、被保険者・被扶養者とも[肺がん]が最も多い。（表 H3-4-H40／表 H3-4-F40）

### 【被保険者】

問3より 医療保険者での市町村がん検診対象年齢の加入者における受診率【表 H3-4-H40】

<被保険者・市町村検診対象年齢><全体>

検診の種類	医療保険者数	対象者数	受診者数	受診率
胃がん（40歳以上男女計）	13	57,725人	26,638人	46.1%
大腸がん（40歳以上男女計）	13	31,529人	19,942人	63.2%
肺がん（40歳以上男女計）	12	60,746人	31,024人	51.1%
子宮頸がん（20歳以上女性計）	13	25,825人	3,443人	13.3%
乳がん（40歳以上女性計）	16	14,205人	3,023人	21.3%

被保険者の受診率は、[肺がん]が51.1%で最も高く、次いで[胃がん]が46.1%、[大腸がん]が44.6%となっている。[子宮頸がん][乳がん]の受診率はそれぞれ13.3%、21.3%となっており、[胃がん][大腸がん][肺がん]よりも低い。（表 H3-4-H40）



[被扶養者]

問3より 医療保険者での市町村がん検診対象年齢の加入者における受診率【表 H3-4-F40】  
 <被扶養者・市町村検診対象年齢> <全体>

検診の種類	医療保険者数	対象者数	受診者数	受診率
胃がん（40歳以上男女計）	11	27,794人	6,897人	24.8%
大腸がん（40歳以上男女計）	13	29,592人	8,123人	27.4%
肺がん（40歳以上男女計）	11	28,686人	9,170人	32.0%
子宮頸がん（20歳以上女性計）	14	51,766人	5,995人	11.6%
乳がん（40歳以上女性計）	14	37,339人	5,528人	14.8%

被扶養者の受診率は、被保険者と同様に[肺がん]が32.0%で最も高く、次いで[大腸がん]が27.4%、[胃がん]が24.8%となっている。[子宮頸がん][乳がん]の受診率はそれぞれ11.6%、14.8%となっており、[胃がん][大腸がん][肺がん]よりも低い。（表 H3-4-F40）

【医療保険者の種別】

(ア) 被保険者

＜医療保険者の種別＞

問3より 医療保険者での市町村がん検診対象年齢の加入者における受診率【表 H3-4-H40】

検診の種類	医療保険者の種別	医療 保険者数	対象者数	受診者数	受診率
胃がん (40歳以上男女計)	組合健康保険 計	11	28,383人	16,881人	59.5%
	国民健康保険組合	1	28,357人	9,061人	32.0%
大腸がん (40歳以上男女計)	組合健康保険 計	13	31,529人	19,942人	63.2%
	国民健康保険組合	3	41,987人	12,554人	29.9%
肺がん (40歳以上男女計)	組合健康保険 計	9	26,008人	16,192人	62.3%
	国民健康保険組合	2	33,753人	14,057人	41.6%
子宮頸がん (20歳以上女性計)	組合健康保険 計	10	16,816人	2,316人	13.8%
	国民健康保険組合	2	8,723人	1,018人	11.7%
乳がん (40歳以上女性計)	組合健康保険 計	14	9,961人	1,748人	17.5%
	国民健康保険組合	2	4,244人	1,275人	30.0%

(※ 全国健康保険協会管掌健康保険は該当なし)

被保険者の状況を医療保険者の種別にみると、[胃がん][大腸がん][肺がん][子宮頸がん]では【健康保険組合】の方が受診率が高く、[乳がん]では【国民健康保険組合】の方が受診率が高い。  
(表 H3-4-H40)

(イ) 被扶養者

<医療保険者の種別>

問3より 医療保険者での市町村がん検診対象年齢の加入者における受診率【表 H3-4-F40】

検診の種類	医療保険者の種別	医療 保険者数	対象者数	受診者数	受診率
胃がん (40歳以上男女計)	組合健康保険 計	10	11,536人	3,460人	30.0%
	国民健康保険組合	1	16,258人	3,437人	21.1%
大腸がん (40歳以上男女計)	組合健康保険 計	10	10,440人	3,008人	28.8%
	国民健康保険組合	2	18,729人	4,911人	26.2%
肺がん (40歳以上男女計)	組合健康保険 計	8	9,534人	3,181人	33.4%
	国民健康保険組合	2	18,729人	5,774人	30.8%
子宮頸がん (20歳以上女性計)	組合健康保険 計	11	23,975人	2,221人	9.3%
	国民健康保険組合	2	27,217人	3,599人	13.2%
乳がん (40歳以上女性計)	組合健康保険 計	12	19,567人	2,166人	11.1%
	国民健康保険組合	2	17,772人	3,362人	18.9%

(※ 全国健康保険協会管掌健康保険は該当なし)

被扶養者の状況を医療保険者の種別にみると、いずれの医療保険者においても、[胃がん][大腸がん][肺がん]の受診率は2～3割台。[子宮頸がん][乳がん]の受診率は1割台となっており、医療保険者の種別の受診率の大きな差はみられない。(表 H3-4-F40)

(5) 医療保険者ごとの受診割合の傾向 (参考)

ア. 各医療保険者の検診対象者における受診率の分布

※ がん検診を実施している医療保険者において、各がん検診における被保険者の受診率の分布を集計した。

【全体の傾向】

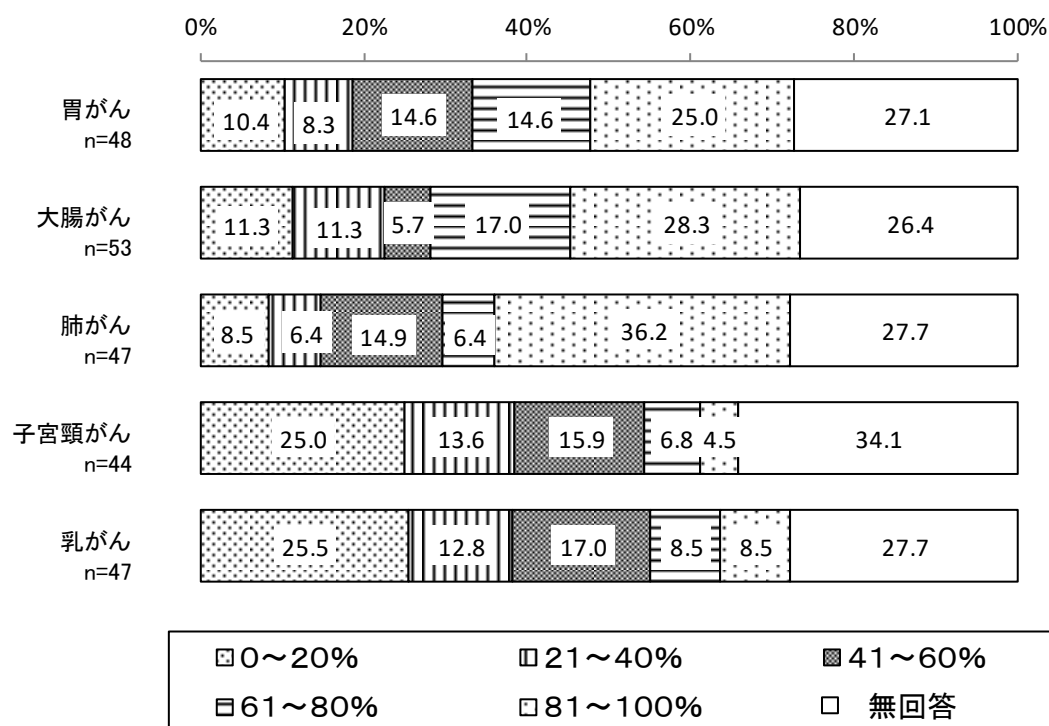
各医療保険者の加入者の検診対象者における受診率の分布状況をみると、被保険者・被扶養者ともに、「無回答」を除くと[子宮頸がん][乳がん]では、「0～20%」が最も多い。[肺がん]は被保険者では「81～100%」が最も多く、被扶養者では「41～60%」が最も多い。[胃がん][大腸がん]は、被保険者では「81～100%」が最も多いが、被扶養者では「0～20%」が最も多い。

なお、対象者数、受診者数いずれかが未記入である「無回答」であった医療保険者は2～3割であり、受診率の算出を行うことができた医療保険者は6～7割であった。(図 H3-5-H / 図 H3-5-F)

【被保険者】

問3より 各医療保険者の検診対象者における受診率の分布 【参考】

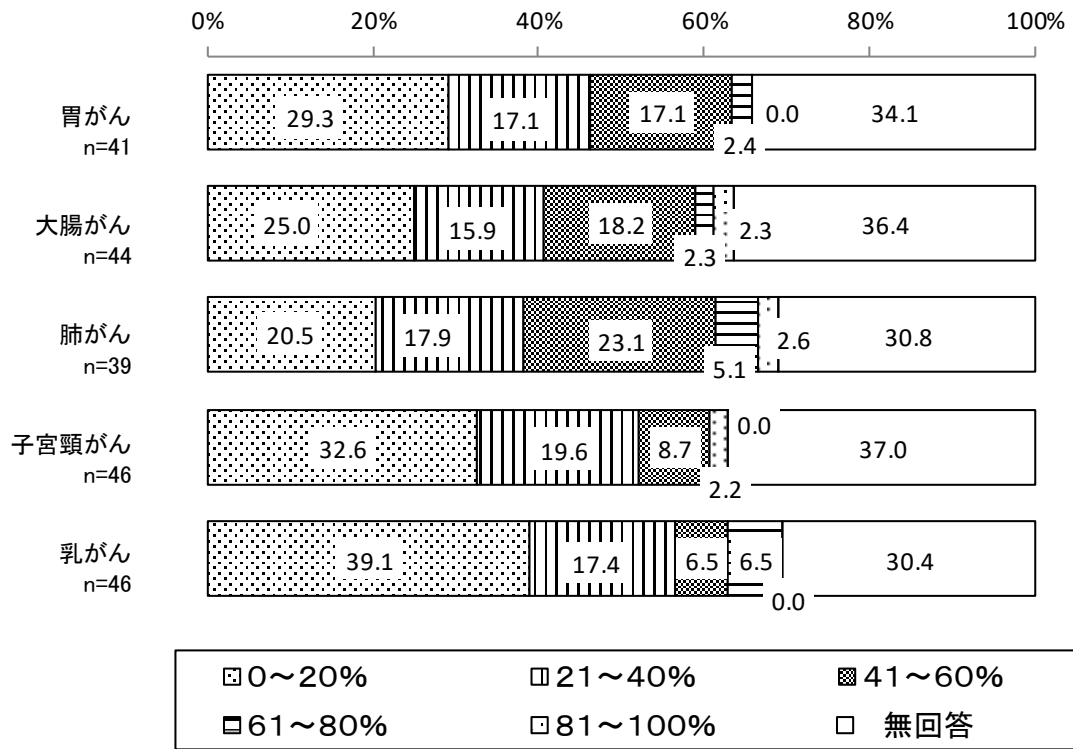
<全体> 【図 H3-5-H】



[被扶養者]

問3より 各医療保険者の検診対象者における受診率の分布【参考】

<全体>【図 H3-5-F】



## イ. 市町村がん検診対象年齢の加入者における各医療保険者の受診率の分布

### 【全体の傾向】

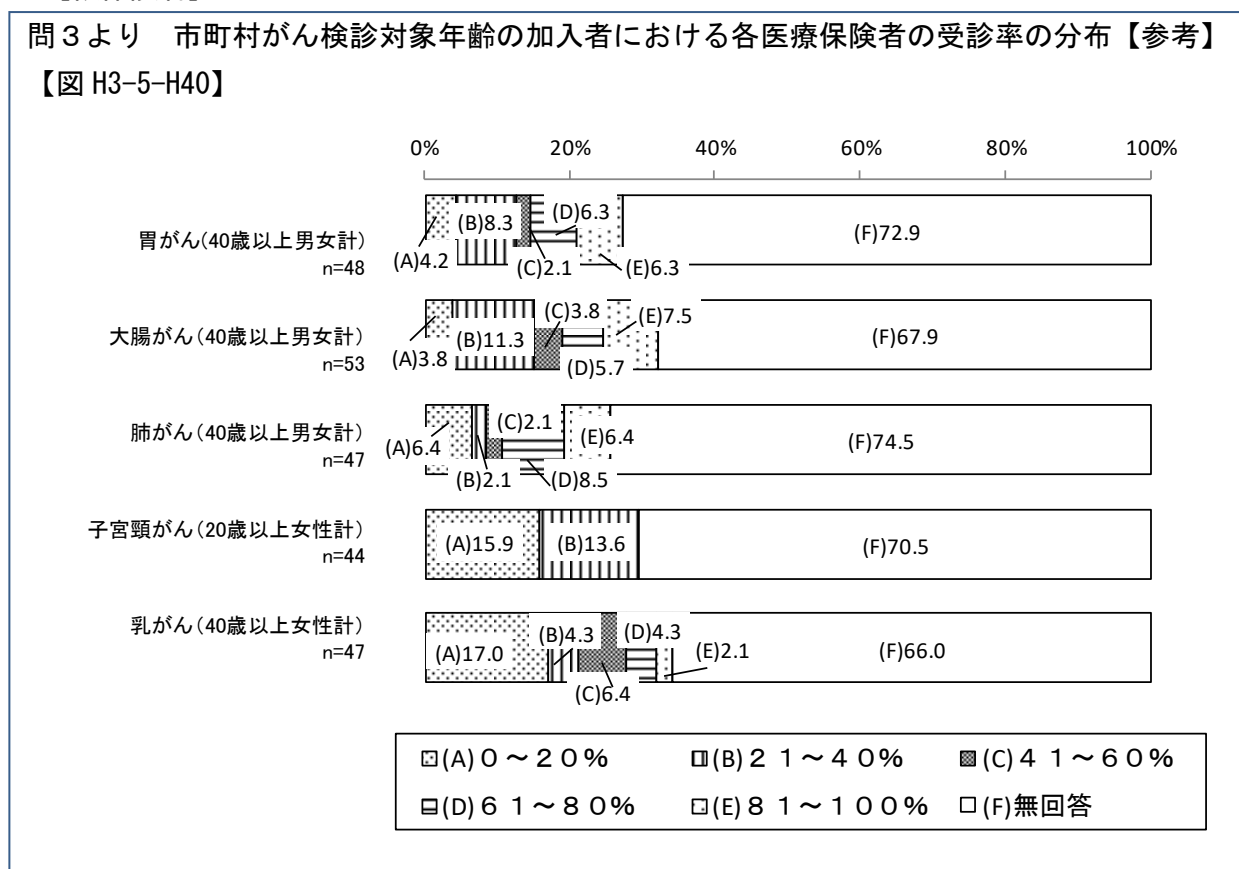
市町村がん検診において国の指針に定められている対象年齢の加入者における受診率の分布状況を見ると、被保険者・被扶養者ともに、「無回答」を除くと[子宮頸がん][乳がん]では、「0～20%」が最も多い。

なお、対象者数、受診者数いずれかが未記入である「無回答」であった医療保険者は6～7割であり、受診率の算出を行うことができた医療保険者は2～3割に留まった。(図 H3-5-H40/図 H3-5-F40)

### [被保険者]

問3より 市町村がん検診対象年齢の加入者における各医療保険者の受診率の分布【参考】

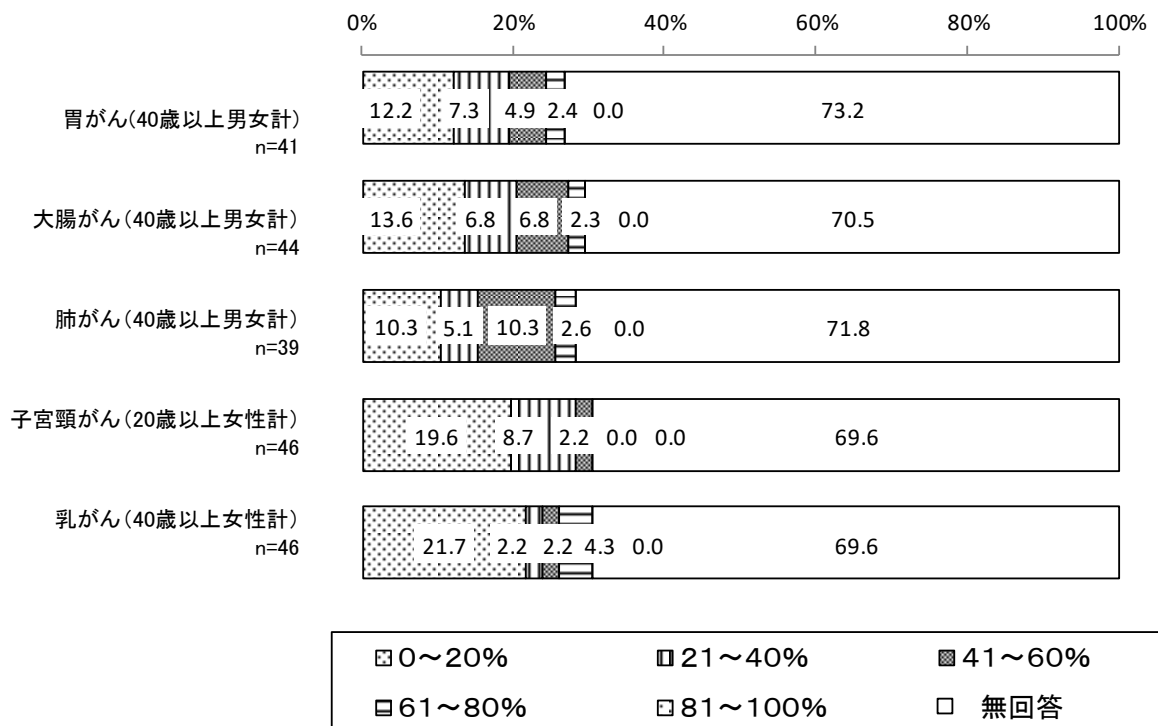
【図 H3-5-H40】



被保険者の状況を見ると、[胃がん][大腸がん]では、「21～40%」が最も多い。(図 H3-5-H40)

[被扶養者]

問3より 市町村がん検診対象年齢の加入者における各医療保険者の受診率の分布【参考】  
【図 H3-5-F40】



被扶養者の状況を見ると、[胃がん][大腸がん][子宮頸がん][乳がん]では、「0~20%」が最も多い。[肺がん]では、「0~20%」、「41~60%」がともに10.3%で最も多い。(図 H3-5-F40)